

風の谷 びゅう VIEW

社会福祉法人 風の谷
 相模原市中央区田名7236-3
 発行責任者 政野 光廣
 042-760-1033
<http://www.kanagawa-id.org/yamabiko/>
 e-mail: ykoubou@pastel.ocn.ne.jp

今年もたくさんの方が作品を完成いたしました！



(左上より、田中さん・山井さん・中塚さん・人気のシュシュ)



【2016年 秋号】

◇巻頭文	P 2	◇自閉症支援センターより	P 3
◇特集『自閉症者との意思疎通の図り方』	P 4・5	◇ヘルパー便り・グループホーム便り	P 6
◇決算報告	P 7	◇後援会のページ	P 8

『寄り添う心』

風の谷後援会会長 堀田脩司

この冊子が発行される頃には、津久井やまゆり園の事件から二ヶ月が経とうとしていることでしょう。亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、重軽傷を負われた方々の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。また、亡くなられた方のご遺族の皆様に謹んでお悔やみ申し上げます。

私達が暮らす同じ市内で、また精神に障害を持つ方やそのご家族にとって身近な施設で起きたこの事件は大変な衝撃でした。被害者の数の多さや無抵抗な障害者を狙ったことに加えて、被疑者が元職員だったことは、今でも強い悲しみとやりきれなさを感じてしまいます。

被疑者は以前から「障害者は生きていてもしょうがない」と発言していたそうですが、彼特異の考え方なのでしょうか。老人ホームの職員が、入所していた高齢者をベランダから投げ落とす事件もありました。社会の一部にそのような身勝手な考え方の人が増えているとしたら大変不安です。

一方、二十年以上も前のことですが、現在四十歳になる我が息子（大輔）が中学校卒業後のある日の夕暮れ時のことです。私と二人で近所の団地を散歩していると、その広場に若者が数名たむろしていました。絡まると嫌だなと思いながら脇を通り過ぎようとした時、その中の一人の少年が「大輔じゃねえか。お前頑張れよ！」と声を掛けてきたのです。多分、中学校の同級生だったのでしょう。障害を持つこの子をからかったり無視したりせず、励ましの言葉を掛けてくれたことに大変感激しました。息子はその彼にとって「生きていてもしょうがない」存在ではなかったのです。

この世の中には必ず障害を持った人がある割合生まれてきます。また、事故や病気で障害を負ってしまう人も少なくありません。障害者や高齢者なども含めて弱い立場の人達を負の存在と考えるのでは無く、大切な一員として共生して行く社会であって欲しいと思います。その様な社会こそが、柔軟で強靱なのではないでしょうか。

そして私達は、これからも行政や施設職員の方々と信頼感をもって、障害を持つ方に寄り添って行きたいと思えます。

最後に、やまゆり園で直接被害に遭わなかった入所者やそのご家族、また園職員の方々も深く心が傷ついていることと思えます。以前と同様と言うのは難しいとしても、安心して笑顔で過ごせる日々の訪れが一日も早いことをお祈り申し上げます。



第9回 相模原市自閉症児・者 作品展

<日時>
 11月18日（金）13:00～19:00
 19日（土）10:00～19:00
 20日（日）10:00～15:00

<会場>
 おださがプラザ
 ラクアルオダサガ 4F

<問い合わせ>
 相模原市やまびこ会 080 - 8870 - 2733



相模原自閉症支援センターより

やまびこ工房は自閉症者の通所施設である。ご家族と協力して自閉症者の生活をサポートしているが、家庭環境の変化等で、風の谷のサービスだけでは支えることができなくなる時がある。そのような時に助けてくれたのは津久井やまゆり園であった。障害理解と支援について日々研鑽されている支援者がいる施設であることをご理解頂きたい。

人の役に立ちたいとは、人間であれば、誰しも思うことであるが、何が人の役に立つか？と考え始めると答えは多様にある。その答えを求めて自分は大学で哲学を専攻した。しかし、学生時に地下鉄サリン事件が起き、それをきっかけに悩んだ。そして、人は“人のため”という最もらしい理由で人殺しをすることもあることに気付き、考えることが怖くなった。5年間学問に費やし、その道を諦めた時には、“人のために”を考えることを禁忌として“自分の好きなこと”をするように心がけた。でもそれはそれで難しくヘトヘトになってしまった時に会ったのが自閉症者であった。自閉症者と関わることは哲学書を読むより面白くて、自分が求めていることを知るためのヒントを与えてくれた。出会ってから1週間は生きていく力がヒシヒシと湧き上がってくるのを感じた。その出会いの中にAさんもいた。

Aさんとの最初の記憶は男子トイレの中にある。青い扉を開けると壁に背中をつけて立っていて、トイレに入っているものか躊躇した。端正な顔立ちで、額は自傷のために瘤になっていた。自分の方には見向きもせず、背筋、腕を真っ直ぐに直立不動で立っていた。関わりたいと思ったが、自閉症の何たるかもわからない自分は、対応の難しいAさんと関わることは、先輩職員から止められていた。

発語はないが、表情は豊かで、魅力的でコミカルでもあった。ただ悲しくて怒っている時は額を叩く自傷があり、眉間から出血してしまうことがあった。施設内を歩く時は壁伝いに歩かれることが多く、ゴミ箱やカゴの位置などを直しながら歩く。自分が廊下をブラブラしているとAさんは“何をしているんだ”という表情で、鼻息荒く、私の左手首を手に取り、作業室Dへと連行される。自分は作業室Dにいないわけではないのだ。そのように意識してくれただけでも嬉しくて、敢えてブラブラしている。するとAさんが駆け寄って来て連行してくれる。その後、先輩職員からは怒られた。

グループホームを体験利用され、初めて向かい合って夕食を摂った時は、ドキドキした。きっと好きな芸能人と食事するときはこんな感じなのかもしれないと思った。ガイヘルを利用して一緒に初めてファミレスに入った時は、ハラハラした。ウェイターが食事を持って厨房から出てくるとAさんは嬉しそうに待っている。食事が必ずAさんの目の前に近づいてくるわけではなく、遠のいていくのを目で追うことになる。すると額を叩く自傷があり、だんだんAさんはイライラしてくる。食事が来る頃には、眉間が切れてしまった。どうしたものかとある方に相談したところ、スルメイカを食べてもらって待っていたら？というアドバイスを頂いた。実際に試した見たところ、自傷なく待つことができ、繰り返ししていくうちにスルメなくても待てるようになった。

Aさんと一番の思い出は電車で熱海に行ったことである。小田原から東海道線に乗る。7人掛けのロングシートに腰を掛け、膝をくっつけ、手はその上に置き、背筋をまっすぐに座っている。電車が揺れるとAさんの体が徐々に左に傾き、45度ほど傾くと「お〜っと」と驚いた表情で姿勢を直す。Aさんの顔が見えるように自分は対面に座っていて、Aさんの向こうにはキラキラと青い海が見えた。それから間もなくしてお父様が亡くなり、告別式に参列され立派にお見送りされ、やまびこ工房を去った。今なら短期入所や行動援護サービスで地域生活を支えることができたかもしれない。Aさん以外にも施設入所された方はいる。見学时にお会いすると耳を塞がれ、機嫌が悪くなってしまったことがあった。自分はその施設で会う人ではないからなのだろう。家庭の都合で一旦は入所することはあっても、環境を整えて地域に安心して戻って来れるような支援体制構築の必要性は以前から言われていたことである。今後の相模原市の障害者支援政策に期待したい。(薬師丸)

自閉症者との意思疎通の図り方

～自閉症者と私たちの架け橋を探して～

私たちは無意識のうちに、言葉や身振り手振りを使い、自分の気持ちを表現しています。しかし、自分の気持ちを表現することを特に苦手としている人が、自閉症者の中には大勢います。彼らは彼らなりの方法で、自らの意思を伝えてきてくれているのですが、心の中で感じていることとは全く別の行動をとってしまっていたり、表面的に見えにくい部分があります。しかし、そうだからと言って、彼らとの意思疎通が難しいというわけではありません。個々に見合った方法を用いれば、彼らの気持ち、私たちの気持ちも、上手に伝え合うことができます。

今回は、第二やまびこ工房で実際に行っている意思疎通の方法について、いくつか例を挙げながら紹介いたします。

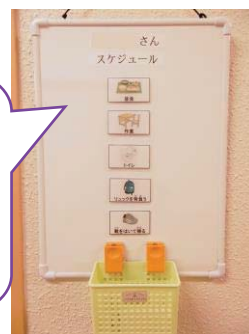
スケジュール

一日の見通しがつくように多くの利用者に使用しています。【絵・写真・文字】どのタイプのカードにするか、【一日分、半日分、2・3枚】などカードの提示数をどのくらいにするかなど、一人ひとりに合ったスケジュールを模索し、提示しています。



左が持ち運ぶタイプのスケジュールです。右はカードを貼る台紙の写真です。同じ絵を揃えたいという障害特性を活かすことで、次の行動場所までスムーズに移動することができます。

本人スペースに常に掲示しているタイプのスケジュールです。カードは下のカゴに入れて次のスケジュールに移行します。



『作業できました』ボードです。作業を終えるごとにマグネットを数字の部分に張り付けていくことで、あと何回作業したら昼食か、帰宅か、見てすぐわかるようにしています。



週間予定表です。左の写真のボードに一週間の“楽しみ”となる予定を提示し、右の写真の下駄箱の部分に、これから行う予定を張り付けていくことで、見通しが立ちやすいようにしています。

左がガイヘル、右が短期入所利用のお知らせです。その日の流れや食事内容を記入し、一日を混乱なく過ごせるようにしています。



声掛け

左記にもあるように、自閉症者の中には、耳からの情報を正確に受け取ることを苦手としている方が多くいます。その為、声掛けの際には以下のことを特に注意して行なっています。

✓ 簡単な単語を1~2語文で、相手方に立った伝え方をする。

例えば、『〇〇して下さい』と相手をお願いするような、話すような伝え方ではなく、『〇〇します』と相手が行なうことを簡潔に伝えます。

✓ 否定形の言葉を使用しない。

不適切であることを注意することも大切ですが、『〇〇してはいけない』『ダメ』などの声掛けを行なうことで、その行動を強化してしまう場合があります。その為、その行動に移る前に、適切な行動へ誘導できるよう対応します。

✓ 言葉の理解力をアセスメントする。

声掛けする際に私たちが気を付けていることで、特に大事にしていることは、言葉が“正しく届いているか”です。例えば、「わかった？」に対して「はい!」と返事をして、本当に言葉の意味を理解しているとは言い切れません。私たちの表情や場面などの周囲の情報を読み取り、その言葉掛けに見合った反応をしているだけかもしれません。私たちが一方的に“わかっている”と思いこんだまま言葉をかけ続けることで、彼らを混乱させてしまうということも多々あります。そのため、第二やまびこ工房では、人や場面を変えて言葉掛けをすることで、その言葉が“正しく届いているかどうか”を判断し、コミュニケーションで彼らを困らせてしまわないように工夫をしています。

絵カード

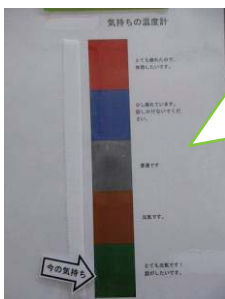
言葉で上手く表現できない利用者や、言葉での理解が難しい利用者の為に使用しています。スケジュールと同様に、一人ひとりに合ったものを作成しています。



上のカードは、液体のりの補充のタイミングを伝える絵カードです。印の位置まで減ったら補充することを見てわかるように提示しています。下のカードは、歯磨きの手順書です。色のついた場所を磨けるように提示しています。

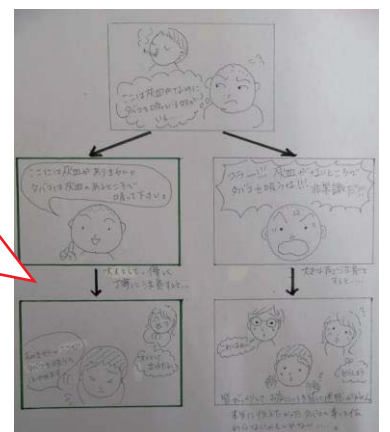
上のカードは、作業が終わったときに、下のカードは、お茶が欲しいときに使用します。

おわりました。



自分の感情を上手く伝えられない方の為の気持ちの温度計です。自分の気持ちを客観的にとらえてもらう為にも使用します。感情のレベルを色で提示し、イライラを赤、安定を緑で設定し、矢印で伝えられるようにしています。

利用者が興味を持っている漫画で、間違ったこと(右)と正しいこと(左)を説明しています。絵の上手い職員の手書きです。



ヘルパー便り



Aさんの行動援護のヘルパーを行うことができました。ご家庭の緊急的なご事情により、ご本人の見守りと通所の付添いの支援が内容です。

ご家庭にお邪魔させて頂き見守る時間がありました。そこで、普段やまびこ工房や短期利用中の赤い屋根ではわからない様子や表情を見させて頂くことが出来ました。好きなアニメのアンパンマンの動画の一場面を繰り返し観ていたり、電子レンジで冷凍食品を温めてたこ焼きを食べたりしていました。こんな一面や出来ることがあるのだと、ヘルパーとして感心と新鮮な驚きを体験しました。

また、お父様からご家庭での日常のご様子や小さい頃のお話を聞かせて頂いたことも、親御さんの子育てのご苦労がたくさんあって今があることを実感した思いでした。

ヘルパーという役割を通して、ご本人の余暇活動や生活習慣の一面を見させて頂きました。

外出場面などの付添い経験を積み重ねている先輩職員の話は、ご本人を理解する上でとても貴重な情報です。皆、利用者との外出の様子を嬉しそうに報告してくれます。その話を聞いていて、利用者の持っている力や人としての魅力、意外な一面にこれもまた驚きの日々です。

計画やヘルパーの機会をひとつひとつ経験しながら、利用者の方から学ばせて頂き自分自身も支援員として成長できたらと考えています。(畑山)

ナウシカ便り



～夏の食卓～

「すごい、完食です。」

最近ナウシカの食卓であがった声です。ホームページの職員ブログの方でも紹介されていますが、今年はプランターの野菜が豊作でした。特にゴーヤは秋めいてきた今でも次々に大きくなっています。少し前まで「来年は朝顔のカーテンにしないとね」とスタッフ同士で話しており、誰も食べない、皆が嫌いなゴーヤという存在でしたが、調理担当スタッフの工夫により皆さん完食されるようになりました。刻んで他の野菜と一緒に炒めたり、サラダにトッピングしたり、肉詰めにしたりと等、せっかく育てくれた野菜を生かしたいというこちらの思惑もあり、苦手な食材トップだったゴーヤが日常のメニューになりました。

また、魚介類が苦手な方も、つい先日ナウシカでは初めて鮭のムニエルを召し上がり、話題となりました。付け合せに好みのキムチがあったこと、食べる前にご自分でブラックペッパーをミルでかけたことで、その気になっていただけたようです。職員の側が躊躇なくテーブルに出し、「いただきます」と当たり前のように食べ始めたことも良かったかと思えます。これは内緒ですが、駄目だった時のために特別食のポークソテーも準備していました。

ナウシカで暮らしの支援をする際に柱と考えていることは、食事と睡眠です。それが健康維持や増進につながり、仕事や余暇に力を注ぐ元気のもととなると思います。中でも食事はより楽しみで、体にも良いものをと、調理担当者と支援担当者がいつも頭を悩ませています。そういった積み重ねが実を結んだ時はとても嬉しいです。

実りの秋も皆さんと楽しい食卓を作っていきたいと思えます。(野田)

社会福祉法人風の谷 平成27年度決算状況報告

(単位：千円)

(1) 資金収支計算書(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

区分	収入額	支出額	資金収支差額
事業活動による収支	317,246	230,485	86,761
施設整備等による収支	23,021	43,116	-20,095
その他の活動による収支	39	1,113	-1,074
合計	340,306	274,714	65,592

※当期末支払資金残高 261,885

(2) 事業活動計算書(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

勘定科目	当年度決算
サービス活動増減差額	80,280
サービス活動外増減差額	-3,271
経常増減差額	77,009
特別増減差額	-129,329
前期繰越活動増減差額	513,421
当期末繰越活動増減差額	461,100
次期繰越活動増減差額	454,100

(3) 貸借対照表(平成28年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	294,332	流動負債	65,931
固定資産	1,023,207	固定負債	385,071
		純資産の部	
		基本金	55,912
		国庫補助金等特別積立金	300,023
		その他の積立金	56,500
		次期繰越活動増減差額	454,100
資産の部合計	1,317,539	負債及び純資産合計	1,317,539

(4) 財産目録(平成28年3月31日現在)

区分	金額
資産の部	1,317,539
負債の部	451,003
差引純資産合計	866,536

後援会のページ

今年は、シーズン前からフライング気味にたくさんの台風に見舞われ、各地で大変な被害が報じられています。そんな中、相模原納涼花火大会は決行され、後援会でもやまびこ工房の屋上をお借りして、恒例の納涼会を行いました。朝からの大雨でギリギリまで開催が危ぶまれましたが、利用者さんの普段のがんばりが報われたのか花火の間だけ奇跡的に雨も小休止、曇天の空を鮮やかに彩る花火を堪能することができました。

そして、この時期はブルーベリーの摘み取りの最盛期です。前年度から丹精込めて育んだ実りを、やまびこ工房に関わる皆さまのご協力をいただいて、一粒一粒丁寧に収穫しました。暑い中、ありがとうございました。これからその実りをまたまた皆さまのお力をお借りして、美味しいジャムに仕立ててまいります。どうぞよろしくお願いたします。そして毎年心待ちにして下さる皆さま、楽しみにお待ちください。

これからも利用者さんのより良い日常のために、皆さまのさらなるご協力をお願いいたします。

風の谷後援会事務局 大庭順子

平成28年6月6日～9月2日現在（五十音順敬称略）

【新規個人】

（相模原市）

岩根徹

【更新個人】

（相模原市）

岩崎圭子 鏡京子 川勝登美子 川勝英範 菊間正好 小林和子 小松克明 佐藤清一 清水紳一郎

萩原莉恵子 萩原春夫 原徹 古橋須美 松原麻子 森合貞雄 山口彰一

（横浜市）川勝友紀子 菊地孝子 （川崎市）上野悟 （厚木市）藤野孝夫 （大和市）村岡嘉紀

（座間市）久保伸司 （平塚市）成瀬富子 （逗子市）北村恵子 （さいたま市）江澤恵

（所沢市）下田浄 （仙台市）辺見貴江子 （世田谷区）下田武 （八王子市）上城功

（町田市）山本昭子 （熊本市）村岡信治 （北九州市）上城和子 佐々木継生

（弘前市）松岡美喜子 （福井県三方上中郡）塚本寿子 （盛岡市）宮手敏雄

【更新団体】

（有）伸和トラスト

【ご寄付・ご協力】

（有）伸和トラスト ワーカーズ・キュービック相模原 新宿自治会 新宿小学校

風の谷後援会のご案内

風の谷後援会は、自閉症者の自立と社会参加を目指す『社会福祉法人 風の谷』を支援することを目的にしております。主旨に御賛同頂き、皆様の温かい御支援を頂きますようお願い申し上げます。

一般会員 一口：3,000円／年間 団体会員 一口：10,000円

※一口以上、何口でも承ります。現金を添えてのお申し込みも承ります。

<お問い合わせ先>

『風の谷後援会』事務局

〒252-0244 相模原市中央区田名 7236-3 社会福祉法人「風の谷」内

TEL：042-760-1033 FAX：042-760-7115

郵便振込先 口座番号 00230-1-15345

他の金融機関からの振込先 ゆうちょ銀行 9900 店番 029 当座 0015345